

地球温暖化対策に関する団体・事業者の取組について

地球温暖化防止プロジェクト推進会議  
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：一般社団法人 岡山県婦人協議会

委員名：藤江京子

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
<取組実績> 古紙再生紙の利用 促進	通 年	古紙再生紙を使ったトイレトペーパーの利用
ちふれ化粧品の利用 促進	通 年	詰替用商品で容器・ボトルの再利用をする
エコバックの利用 促進	通 年	エコバックの利用
<計画> 家庭排水の改善	年 間	油を流さない、台所洗剤の使用を少なくする 等、家庭で出来る事に取り組む

地球温暖化防止プロジェクト推進会議  
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：岡山県消費生活問題研究協議会

委員名：森渕 玲子

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
<取組実績> マイバッグ運動	6月, 11月	啓発チラシ、エコバック配布によるノーレジ袋キャンペーン
省資源、省エネルギーへの取組	随 時	温暖化に関する研修会、エコクッキング研修、リサイクル品・リメイク品の作製等
<計画> マイバッグ運動	6月, 11月	啓発チラシ、エコバック配布によるノーレジ袋キャンペーン
省資源、省エネルギーへの取組	随 時	温暖化に関する研修会、エコクッキング研修、リサイクル品・リメイク品の作製等

地球温暖化防止プロジェクト推進会議

地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：岡山県地球温暖化防止活動推進センター

委員名：吉田 邦成

取組実績

名 称	時 期	内 容 等
COOL CHOICE の啓発	通年	県民に対して、温室効果ガス削減への取組みを促すため、国民運動である賢い選択「COOL CHOICE」の啓発を行った。
クールビズ・ウォームビズの取組みの推進	通年	クールビズ、ウォームビズに関して、ポスター等の設置や啓発を行い、県民並びに職員へ周知した。
環境イベントへの出展	通年	新型コロナウイルスにより中止
節電、ライトダウンの取組	7月7日	岡山市と協働し、企画実施した。新型コロナウイルス感染防止対策の関係で、会場に放送ブースを設け、公開生放送（岡山シティエフエム）を行い、夜間照明を消して地球温暖化防止を訴えた。
緑のカーテンの設置	5～9月	夏の節電の啓発を目的に環境学習センター「アスエコ」店頭で県民向けにゴーヤの種を配布した。また、「アスエコ」の施設南面にゴーヤ等の緑のカーテンを設置した。
ノー残業デーの推奨	通年	週1回、残業を実施しない日を定めて事務所の消灯を行った。
コピー用紙、雑紙の回収	通年	事務所内から発生する、古紙、雑紙を分別し再利用やリサイクルを行った。
情報誌「環境」の発行	年4回 (季刊)	環境保全事業団が年4回独自に作成するエコ情報誌「環境 eco magazine」を発行した。(発行部数 2,500 部/回)
アースキーパーメンバーシップ制度の啓発	通年	県より受託したアースキーパーメンバーシップ事業において、新規入会者を増やすため、アスエコでのイベントの参加資格をアースキーパーであることとし、入会者の増加につなげた。(エコビジョン 2020 努力目標の 14,000 会員達成)
地球温暖化防止活動推進員との協働	通年	住民への普及啓発など、地域における地球温暖化防止活動の推進役として県知事が委嘱している地球温暖化防止活動推進員と協働し、環境学習出前講座、アスエコスペシャルイベントなどで県民に対し温暖化防止に関する啓発を行った。
温暖化防止啓発動画やパンフレット等の作成	通年	温暖化防止に関する動画やパンフレットを作成し啓発を行った。

「かんぼん」の取組み (エコポイント制度)	通年	職員自らが取組んだ温暖化防止につながる活動に対してポイントを付与する制度。地域貢献として、職員が積立てたポイントに応じて、活動に役立つ備品を小学校などへ提供した。(1ポイント=100円として換算)
おかやま環境フォーラム の開催	2月	県民を対象に温暖化防止など地球環境問題に関するフォーラムを開催した。 ●おかやま環境フォーラム 2021 現代の箱舟が世界を救う!?ビールだけじゃないオオムギの可能性 講師：岡山大学 資源植物科学研究所 佐藤和広氏

取組計画等

名 称	時 期	内 容 等
COOL CHOICE の啓発	通年	県民に対して、温室効果ガス削減への取組みを促すため、国民運動である賢い選択「COOL CHOICE」の啓発を行う。
クールビズ・ウォームビズ の取組みの推進	通年	クールビズ、ウォームビズに関して、ポスター等の設置や啓発を行い、県民並びに職員へ周知する。
環境イベントへの出展	通年	地球温暖化に関する普及啓発を行う。
節電、ライトダウンの取組	7月7日	岡山市と協働し、夜間照明を消して地球温暖化防止を訴える企画を実施する。
緑のカーテンの設置	5～9月	夏の節電の啓発を目的に環境学習センター「アスエコ」の施設南面にゴーヤ等の緑のカーテンを設置する。
ノー残業デーの推奨	通年	週1回、残業を実施しない日を定めて、事務所の消灯を行う。
コピー用紙、雑紙の回収	通年	事務所内から発生する、古紙、雑紙を分別し再利用やリサイクルを行う。
情報誌「環境」の発行	年4回 (季刊)	環境保全事業団が年4回独自に作成するエコ情報誌「環境eco magazine」を発行する。(発行部数2,500部/回)
アースキーパーメンバー シップ制度の啓発	通年	岡山県で地球温暖化防止のために、地球にやさしい生活に取り組む人たちを、地球を守る人として会員登録する制度を県より受託し運営する。アスエコでのイベントの参加資格をアースキーパーであることとし、入会者の増加につなげる。
地球温暖化防止活動推進 員との協働	通年	住民への普及啓発など、地域における地球温暖化防止活動の推進役として県知事が委嘱している地球温暖化防止活動推進員と協働し、環境学習出前講座、アスエコスペシャルイベントなどで県民に対し温暖化防止に関する啓発を行う。
温暖化防止啓発動画やパ ンフレットの作成	通年	温暖化防止に関する動画やパンフレットを作成し啓発を行う。

<p>「かんぼん」の取組み (エコポイント制度)</p>	<p>通年</p>	<p>職員自らが取組んだ温暖化防止につながる活動に対してポイントを付与する制度。地域貢献として、職員が積立てたポイントに応じて、活動に役立つ備品を小学校などへ提供する。(1ポイント=100円として換算)</p>
<p>おかやま環境フォーラム の開催</p>	<p>2月</p>	<p>県民を対象に温暖化防止など地球環境問題に関するフォーラムを開催する。</p>

地球温暖化防止プロジェクト推進会議  
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：認定特定非営利活動法人

おかやまエネルギーの未来を考える会

委員名：廣本 悦子

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
地球環境基金事業	2020年度中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内の27自治体へ気候変動対策に関するアンケート調査を実施。</li> <li>・ 岡山市立中学校へ気候変動対策に関するアンケート調査を実施。</li> </ul> <p>自治体・学校の見えてきた課題解決に向けて提案できるよう「提案書」を作成中。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内で再エネ100%を目指す4回連続オンライン人材育成講座を実施。のべ約80名が受講。</li> <li>・ 中山間地域での再エネ普及に向けて美作市上山地区でベランダ太陽光発電のワークショップ。</li> <li>・ 長野県庁や白馬高校、NPO法人を訪問し、先進的な取り組みを視察。</li> <li>・ 中学生～大学生までの「エネミラユースチーム」で3回連続の勉強会、西粟倉村の自然エネルギー100%の取り組みを見学。</li> <li>・ ユースチーム主体の中・高校生向けセミナーを3月21日開催。現在準備中。</li> </ul>
岡山県地域新エネルギー導入推進研修会	5月、11月 9月 2月（予定）	<p>2回のオンライン研修会（再エネ最新動向、ソーラーシェアリング）実施。</p> <p>県外視察（鳥取県北栄町、鳥取すいそ学びうむ）</p> <p>4回目（EV+PV）研修会を予定。</p>
出前授業・出前講座	随時	真庭市北房・月田・天津小学校、倉敷市第五福田・柳井原小学校、岡山大学附属・操南・高松中学校、

活動紹介	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『世界首長誓約/日本』セミナー in 中国・四国</li> <li>・ 山陽学園大学</li> </ul>
	12月	
キャリアワールド受け入れ	11月	岡山大学附属中学校で3月に予定(オンライン)
イベント出展		なし
新聞取材	10月、11月	山陽新聞、毎日新聞
グローバル気候マーチ	9月	シューズアクション
自然エネルギーグッズ普及	随時	グッズ類の制作・メンテナンス、木質ペレットの販売等
J-クレジットの仲介	随時	倉敷市のJ-クレジットを販売
自治体の審議会出席	随時	岡山県、岡山市の審議会等
寄附金贈呈	1月	あいおいニッセイ同和損保より
その他	随時	岡山市からの市民共同発電所交付金で普及啓発。発電所10基のメンテナンス管理・運営



地球温暖化防止プロジェクト推進会議  
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：岡山県商工会議所連合会

委員名：鶴岡 良孝

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
クールビズ 県民運動	5月～10月末	県下商工会議所への周知 室温設定の励行
ウォームビズ 県民運動	11月～3月末	県下商工会議所への周知 室温設定の励行

地球温暖化防止活動プロジェクト推進会議  
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：岡山県中小企業団体中央会

委員名：村上豊次

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
クールビズ・ウォームビズの推進	5月～10月 11月～4月	設定温度管理。ノーネクタイ、ノー上着（クールビズ）、上着の着用等（ウォームビズ）など、職員が服装調整。また、主催会議等での各ビズの励行を行っている。
各会員への周知	5月、11月	各ビズのスタート時に広報誌（会報「中央会おかやま」）及びメルマガ等で周知
省エネ対策	通 年	<ul style="list-style-type: none"><li>・昼休みの消灯</li><li>・省エネエアコンの導入</li><li>・省エネカー（公用車）利用促進</li><li>・電灯 LED 化</li></ul>

地球温暖化防止プロジェクト推進会議

地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名： 中国電力株式会社 水島発電所

委員名： 中井 樹

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
中国電力としての 取組み	<p>継続実施中</p> <p>継続実施中</p> <p>2011年12月～ (福山太陽光発電所) 2014年12月～ (宇部太陽光発電所)</p>	<p>■地球温暖化防止に向けた取組み 原子力や再生可能エネルギーといった非化石エネルギーの利用拡大に取り組むとともに、新規開発する火力発電所については、経済的に利用可能な最良の技術（B A T : Best Available Technology）を採用するなど化石エネルギーの効率的な利用に努めています。 また、石炭ガス化燃料電池複合発電などのCO<sub>2</sub>低減に向けた先進的な技術開発や、石炭火力発電技術などの海外への技術支援によるCO<sub>2</sub>削減等の取組みも行っています。</p> <p>《具体例》</p> <p>■安全確保を大前提とした原子力発電の活用 CO<sub>2</sub>排出量の削減に大きな効果がある、島根原子力発電所の早期再稼働に向けた安全対策に確実に取り組むとともに、新たな基準に対応し、皆さまに安心していただける発電所となるよう安全確保に万全を期していきます。</p> <p>■水力の有効利用 水力は再生可能な自然エネルギーであり、運転中にCO<sub>2</sub>を排出しないため、地球温暖化防止の面で有効な電源です。当社では100カ所（約291万kW）の水力発電所を有しており、水資源の有効利用推進と確保にも努めています。</p> <p>■太陽光発電の導入 福山太陽光発電所、宇部太陽光発電所の2カ所のメガソーラー発電（計6千kW）を有しており、年間約4,100t-CO<sub>2</sub>のCO<sub>2</sub>排出抑制につながると試算しています。</p>

<p>中国電力としての 取り組み</p>	<p>2013 年度から本格運用を開始</p> <p>2018 年 11 月～ (建設工事開始) 2022 年 11 月～ (営業運転開始)</p> <p>2019 年 12 月～ (CO<sub>2</sub> 分離・回収型 IGCC 実証試験) 2019 年 3 月～ (CO<sub>2</sub> 分離・回収型 IGFC 実証)</p>	<p>■林地残材バイオマス石炭混焼発電実証事業 新小野田発電所と三隅発電所で実施しており、2018年度は約 2.0 万 t の木質バイオマスを混焼発電し、CO<sub>2</sub> 排出量を約 1.5 万 t-CO<sub>2</sub> 削減しました。</p> <p>■三隅発電所 2 号機の建設 最新鋭の発電方式 (USC: 超々臨界圧) を採用し、経済性、環境性に優れた設備にするとともに、バイオマス燃料との混焼により、さらなる CO<sub>2</sub> 排出抑制につなげようと考えています。</p> <p>■石炭ガス化燃料電池複合発電 (IGFC) などの先進的な技術開発 「高効率化」「クリーン化」技術として究極の高効率石炭火力発電である石炭ガス化燃料電池複合発電 (IGFC) と CO<sub>2</sub> 分離・回収を組み合わせた革新的低炭素石炭火力発電の実現を目指し、「大崎クールジェンプロジェクト」を実施しています。 なお、本プロジェクトは、電源開発(株)と共同で設立した大崎クールジェン(株)を事業主体とし、経済産業省補助事業 (2012～2015 年度) および国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 助成事業 (2016 年度～) として実施しています。</p>
--------------------------	--	--

地球温暖化防止対策に関する取り組み状況について

1. 二酸化炭素の排出状況について

当社の2019年度の二酸化炭素の排出に関しましては、粗鋼生産1tあたりの排出量(原単位)において、2018年度比で2.03%減少いたしました。

	2018年度	2019年度	増減率
CO2原単位 (CO2-t/ts)	2.138	2.095	▽2.03%
CO2排出量 (CO2-百万t/年)	16.58	16.95	+2.21%
粗鋼量 (千t/年)	7,754	8,090	+4.33%

2. 主な排出削減活動について

JFEグループは、2020年を気候変動対応推進の節目の年と位置付け、当社グループとしてのCO2削減目標を掲げることを決定しました。グループのCO2排出量の大部分を占める鉄鋼事業において、2030年度のCO2排出量を2013年度比で20%以上削減することを目指し、既存技術や革新的技術等を最大限に活用した実現可能なCO2削減シナリオを検討していきます。

長期的には、社会全体の脱炭素技術インフラの整備が進むことと合わせて、2050年までのできるだけ早い時期に、カーボンニュートラルを実現する新技術のメニューが提示可能となるよう、研究開発を加速させ、2050年以降のできるだけ早い時期にJFEグループのカーボンニュートラルを実現すべく、取り組んでいきます。

当社としては、全社レベルにおいて「CO2原単位の削減」に取り組んできておりますが、倉敷地区における至近での主な排出削減活動は以下の通りです。

- (1) 前回の会議でCO2削減に向けた取組みとして紹介した、高効率リジェネレーターを採用した形鋼工場の加熱炉更新は、予定通り2020年度に稼働しました。また、第4高炉改修工事にも2020年度から着手しています。炉体の健全化と最新のDS・AI技術導入による操業安定化を図り、高炉で還元剤として使用するコークスの使用量の削減等により、CO2削減を行います。
- (2) 製鉄所における燃料・電力運用における省エネルギー・CO2削減を目的に、サイバーフィジカルシステムに基づく運用最適化を以前から導入していますが、昨年ソフトの増強を行い、更なる効率化を図っております。

以 上

2021年1月29日

地球温暖化防止プロジェクト推進会議  
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：ENEOS(株)水島製油所

委員名：環境安全グループマネージャー 村上 順

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
ENEOS(株) 水島製油所 A/B工場	2020年4月～	<p>■省エネルギー活動の推進</p> <p>ボイラーや加熱炉で燃料を燃焼し、製品製造に必要なエネルギー（熱・電気）を賄っており、燃焼に伴い発生したCO<sub>2</sub>を排出しています。</p> <p>地球温暖化防止のために、エネルギー消費効率の向上させる「省エネ」ルギーによる燃料使用量削減に取り組んでいます。</p> <p>■今年度の主な取り組み</p> <p>当所では、以下により燃料使用量の削減に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・排ガス中の酸素濃度の厳密管理</li><li>・スチームトラップ管理強化</li><li>・低圧スチームの有効利用</li><li>・装置の高度制御システム導入による更なる省エネ志向の運転</li></ul>

地球温暖化防止プロジェクト推進会議

地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名： 株式会社クラレ 岡山事業所

委員名： 谷浦 昌人（環境安全部）

取組み実績および計画等

名称	時期	内容等
1. 環境負荷低減活動	通年	<p>ISO14001 活動への取り組みを通じて、環境負荷の低減を実施。</p> <p>主要な活動内容を以下に示す。</p> <p>(1) 製造方法の見直し（設備改造）及び高効率機器への設備更新等により、消費電力量（使用スチーム量）の低減を実施（CO2 排出量の削減）</p> <p>(2) 環境負荷を低減した製造方法への変更（PRTR 物質排出量削減）</p> <p>(3) 収率向上対策の実施等による廃棄物発生量の削減</p> <p>(4) 管理強化及び工程の改善による、排水負荷の低減</p> <p>等</p>
	2023 年～	新ボイラー設備更新後、稼働開始
2. 環境製品の開発・販売		<p>(1) ガス遮断性エバールフィルム（食品包装材、自動車ガソリタンク等に使用）の製造・販売</p> <p>(2) アスベスト及び天然皮革代替等、環境負荷低減製品の製造・販売</p> <p>等</p>
3. 環境保全・啓蒙活動		<p>下記活動を継続して実施中。</p>
①CSR レポートの発行	通年	(1) マテリアリティーとSDGs の取り組みについて公表
②行政主催活動への参加	2017 年～ 2004 年～	<p>(1) 児島湖清掃活動、旭川荘清掃活動への参加</p> <p>(2) エコ事業所活動（ゼロエミッション・一般事業所）の認証取得</p> <p>等</p>

地球温暖化防止プロジェクト推進会議  
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：岡山県市長会

委員名：岡山県市長会 事務局長 小西洋史

【岡山市】取組実績（令和元年度実績）

名 称	時 期	内 容 等
・地球環境問題 ポスターコンク ール	12月～4月	作品募集・入賞作品の展示
・岡山市環境保 全行動計画の推 進	通年	P D C Aサイクルによるマネジメントより、市役所 自らの事務事業から発生する環境負荷の低減に取り 組む。
・岡山 E S D プ ロジェクトの推 進	通年	市域において E S D を推進するとともに、市域内外 との情報交換・交流を進める。
・ライトダウン キャンペーンの 実施	6月～7月	夏至から七夕の間のライトダウンを呼びかける。ア スエコと共同で啓発イベントを実施。
・ L E D 防犯灯 の設置普及	～3月	町内会の防犯灯の L E D 化を支援、市の防犯灯の L E D 化を推進。
・市民共同発電 事業	通年	市民団体が、市民からの募金を基に太陽光発電設備 を設置する活動等を支援する。
・市有施設への 再生可能エネル ギーの導入	通年	認定こども園などに太陽光発電システムを導入
・住宅用スマー トエネルギー設 置補助事業	～3月	市内の住宅に太陽光発電システム、省エネ設備、電 気自動車等を設置する個人に設置費の一部を助成。
・事業所用スマ ートエネルギー 設備導入補助	～3月	市内の事業所への省エネ設備、電気自動車等を導入 する場合に設備費の一部を助成する。
・公用電気自動 車導入事業	通年	公用車として電気自動車を3台導入。



・エコドライブ講習会	年6回	体験型エコドライブ講習会を開催予定（実技4回、座学のみ2回）
・二酸化炭素削減ポテンシャル診断	通年	国の補助事業を利用し、市有施設からの二酸化炭素排出量削減のための診断を実施。
・緑化推進	通年	生垣・屋上緑化・壁面緑化等に助成
・クールビズ	5月～10月	執務室の冷房温度の28℃に設定し、ノーネクタイ等のクールビズを推進。
・ウォームビズ	11月～3月	執務室の暖房温度を19℃以下に設定し、重ね着等のウォームビズを推進。
・ノーマイカーデーの実施	5月	マイカー等の使用自粛に取り組む。
・スマート通勤おかやまへの参加	10月	マイカー通勤から公共交通機関への利用の転換を呼びかける。
・省資源の推進	通年	岡山市環境保全行動計画に基づき、節水・コピー用紙の節減に取り組む。
・バイオ燃料地域利用事業	通年	使用済天ぷら油を回収してBDFを精製し、ごみ収集車等の燃料とする。
・グリーン購入の推進	通年	特定調達品目及び判断基準を見直し、グリーン購入に取り組む。

計画（令和2年度計画）

活 動 名	時 期	概 要
環境経営セミナーの開催	2月	事業者を対象に環境経営セミナーを開催
地球環境問題ポスターコンクール	12月～4月	作品募集・入賞作品の展示
岡山市環境保全行動計画の推進	通年	PDCAサイクルによるマネジメントより、市役所自らの事務事業から発生する環境負荷の低減に取り組む。
岡山ESDプロジェクトの推進	通年	市域においてESDを推進するとともに、市域内外との情報交換・交流を進める。

ライトダウンキャンペーンの実施	6月～7月	アスエコと共同で啓発イベントを実施予定。夏至及び七夕の日のライトダウンを呼びかける。
LED防犯灯の設置普及	～3月	町内会の防犯灯のLED化を支援、市の防犯灯のLED化を推進。
市民共同発電事業	通年	市民団体が、市民からの募金を基に太陽光発電設備を設置する活動等を支援する。
市有施設への再生可能エネルギーの導入	通年	認定こども園、地域センター、コミュニティハウスなどへ太陽光発電システムを導入予定
住宅用スマートエネルギー設置補助事業	～3月	市内の住宅に太陽光発電システム、省エネ設備、電気自動車等を設置する個人に設置費の一部を助成。
事業所用スマートエネルギー設備導入補助	～3月	市内の事業所への省エネ設備、電気自動車等を導入する場合に設備費の一部を助成する。
エコドライブ講習会	年6回	体験型エコドライブ講習会を開催予定（実技4回、座学のみ2回）
二酸化炭素削減ポテンシャル診断	通年	国の補助事業を利用し、市有施設からの二酸化炭素排出量削減のための診断を実施する。
緑化推進	通年	生垣・屋上緑化・壁面緑化等に助成
クールビズ	5月～10月	執務室の冷房温度の28℃に設定し、ノーネクタイ等のクールビズを推進。
ウォームビズ	11月～3月	執務室の暖房温度を19℃以下に設定し、重ね着等のウォームビズを推進。
ノーマイカーデーの実施	5月	マイカー等の使用自粛に取り組む。
スマート通勤おかやまへの参加省資源の推進	10月 通年	マイカー通勤から公共交通機関への利用の転換を呼びかける。 岡山市環境保全行動計画に基づき、節水・コピー用紙の節減に取り組む。
バイオ燃料地域利用事業	通年	使用済天ぷら油を回収してBDFを精製し、ごみ収集車等の燃料とする。
グリーン購入の推進	通年	特定調達品目及び判断基準を見直し、グリーン購入に取り組む。

【倉敷市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
ノーマイカーデーの実施	5月	マイカー等の使用自粛に取り組む。
クールビズ	5月～10月	冷房時の室温は28℃を目安とし、ノーネクタイなどの軽装を実践・啓発する。
くらしき環境フェスティバル	6月 (R2年度は中止)	環境講演会、体験型ブース等において、温暖化対策、ごみ減量、リサイクル推進、生物多様性保全、地産地消、新エネルギー関連の普及啓発等を実施する。
くらしき省エネセミナー	7月 (R2年度は中止)	中小事業者向けの省エネによる経営改善を目的としたセミナーを開催する。
ライトダウンキャンペーン	7月	市施設における不要な電気の消灯徹底、職員に対する家庭での消灯の呼びかけを行う。
ウォームビズ	11月～3月	暖房時の室温は20℃以下を目安とし、重ね着等による暖房に頼らないワークスタイル等を実践・啓発する。
STOP温暖化くらしき	12月	地球温暖化対策についての市民向け講演会を開催する。
グリーン購入	通年	グリーン購入を積極的に実践するとともに、市役所各部署でのグリーン購入促進に取り組む。
倉敷市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)	通年	市役所の事務事業の実施に伴う温室効果ガスの削減目標を定め、節電・省エネ・節水・紙削減・グリーン調達等の取組を推進する。
倉敷市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)	通年	クールくらしきアクションプランに基づき、本市における温室効果ガス排出量のさらなる削減を目指す。
創エネ・低炭素住	通年	戸建住宅に、太陽光発電システム、太陽熱利用システム

宅促進補助事業		、燃料電池システム、定置型リチウムイオン蓄電池システムを導入する個人及びリース業者に対し、その費用の一部を助成する。
次世代エコハウス導入促進補助	通年	地域特性を活かした省エネ性能の高い次世代エコハウス認定を受けた新築住宅を建築する個人に対し、その費用の一部を助成する。
電気自動車等導入促進補助	通年	EV、PHV、FCV及び充電設備の導入を行う個人及び法人並びに充放電設備の導入を行う個人に対し、その費用の一部を助成する。
中小企業の省エネ設備導入に対する補助	通年	エネルギーの見える化を行い、省エネ診断に基づく省エネ設備、再エネシステム等を導入する中小事業者に対し、その費用の一部を助成する。
COOL CHOICE	通年	クールビズ・ウォームビズに加え、省エネ機器の買い替え促進、エコドライブの推進、公共交通機関の利用などを促進する。

【津山市】取組実績及び計画等

名称	時期	内容等
津山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	平成25年4月策定、平成29年2月改定	津山市の事務及び事業に伴って発生する温室効果ガスを本計画に基づく取組みを行うことで削減し、地球温暖化対策の推進を図ることを目的として策定
津山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）	平成30年6月策定	津山市全域の、市民生活や事業活動に起因して市内で排出される温室効果ガス排出削減を目的として、策定
低炭素都市津山スマートエネルギー導入応援事業	平成22年度～	住宅用太陽光発電システム（令和元年度終了）、太陽熱温水器等、蓄電池、電気自動車等、超小型モビリティ購入に関する補助金支給
地球温暖化対策普及啓発事業	時期不詳	親子エコフェスタ、森の学校、水の学校等のイベントによる環境啓発事業
グリーンカーテン普及促進事業	時期不詳	市内幼稚園、保育所等にゴーヤの苗及びプランター・土を無料配付。また、作品展の実施。
市民協働発電所事業	平成27年4月～	津山市で環境活動に取り組んできた団体等が設立した一般社団法人が統括管理を行う発電所事業に対し、市有施設の屋根等を無償提供。事業による利益は環境学習等の取組みに使われる
グリーンニューディール基金事業	平成27年度	防災拠点や災害時に機能を保持すべき公共施設への、再生可能エネルギーや蓄電池、未利用エネルギー及び高効率省エネ機器の導入。
超小型モビリティ導入実証事業	平成26年度～平成29年度	超小型モビリティ・コムスを公用車としての利用及び他団体への貸出を行うことで、地球温暖化対策の普及啓発を行うとともに二酸化炭素排出削減に取り組んでいる。 ※実証事業自体は平成29年度で終了したが、現在も公用車として利用し、CO2削減に取り組んでいる。
カーボンオフセット事業	平成25年度～	市内住宅用太陽光発電設備によるCO2排出権を活用し、通帳作成や広報誌の印刷で発生したCO2をオフセットしている。また、各種イベントの際にカーボンオフセット商品をPRしている。

【玉野市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
緑のカーテンプロジェクト	春期～秋季	市役所本庁舎、保育園、幼稚園及び小中学校等で、ゴーヤによる緑のカーテンを生育する。
ノーマイカーデー運動	5月、10月	マイカー等の使用自粛によりCO <sub>2</sub> の排出量を削減する。 (R2年はコロナ禍により職員への積極的な啓発は見合わせ。一方で、在宅勤務等の拡充に向けた勤務体制の見直し等を実施 5月、8月)
ノーレジ袋推進運動	6月、11月	ノーレジ袋推進運動の実施、マイバッグ持参の呼び掛け。 (R2年はコロナ禍により、市民への啓発用マイバックの対面(店頭)配布は中止)
スーパークールビズ	夏期	軽装等による冷房に頼らないワークスタイル推進を行う。
くるりんクルクル	秋期	環境学習イベント(くるりんクルクル)を行う。 ①「写生大会」、「緑のカーテンコンテスト」、「小学生(環境・ごみ・省資源・省エネルギー)【作文】・【絵画・ポスター】コンクール」の表彰 ②体験学習や啓発展示など、学習機会を提供 (R2年はコロナ禍により中止)
ウォームビズ	冬期	重ね着等による暖房に頼らないワークスタイル推進を行う。
グリーン購入	通年	市民に配布する「ごみカレンダー」の印刷において大豆油インクを使用するなど、グリーン購入を推進する。
デマンド抑制装置	通年	市役所本庁舎にデマンド抑制装置を導入し、デマンド値(契約電力)の抑制効果によって、電気料金の削減を行う。

急速充電器保守管理	通年	E V急速充電器の保守管理を行い、利用環境を維持する。
廃食用油回収	通年	学校給食センター及び市内2地区の家庭から排出される廃食用油を回収し、BDF（生物由来ディーゼルエンジン用燃料）にリサイクルする。
コンポスト容器購入補助	通年	コンポスト容器購入費の一部補助により資源化意識を促進し、ごみ焼却量の減量に努める。
地球温暖化対策推進計画の実施	通年	「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「地方公共団体実行計画」として策定した「玉野市地球温暖化対策推進計画」に基づき、市の事務及び事業の実施によって発生する温室効果ガスの削減に向けて、機器の省エネ化、節電等に取り組む。

【笠岡市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
笠岡市住宅用太陽光発電システム等設置費補助金	通年	<p>市民に対して環境にやさしい自然エネルギーの積極的な利用を促進するとともに、環境保全に対する意識の高揚を図るため、自ら居住する市内の住宅に太陽光発電システム及び太陽熱利用システムを設置する者に、補助金を交付する。</p> <p>太陽光発電システムの場合は2万円/kwで発電システムを構成する太陽電池モジュールの最大出力値を乗じた額とし、5万円を限度額とする。</p> <p>太陽熱利用システムの場合は、本体及び付属機器の購入費及び設置工事費の合計額に10分の1を乗じて得た額で3万円を限度額とする。</p>
笠岡市電気自動車等購入費補助金	通年	<p>電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車の普及を促進するとともに、市民の環境保全に対する意識の高揚を図るため、電気自動車等を購入する者に補助金を交付する。</p> <p>交付申請する者が自ら使用し、市内を使用の本拠とする新車の電気自動車等を購入する者が対象で、補助金額は車両価格に10分の1を乗じて得た額で10万円を限度額とする。また補助対象車両は、普通自動車若しくは小型自動車又は軽自動車で、当該年度の国のクリーンエネルギー自動車導入促進対策費補助金業務実施細則別表1で定める電気自動車又はプラグインハイブリット自動車とする。</p>
第4次笠岡市・一部事務組合地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	通年	<p>平成29年度改訂。「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条に基づき、市町村に策定が義務付けられている計画として、且つ平成28年5月に閣議決定された国の「地球温暖化対策計画」に定められた。</p> <p>削減目標に寄与するため、策定されたもの。笠岡市及び一部事務組合の事務及び事業に伴って発生する温室効果ガスを計画に基づく取り組みによって削減する。</p>



<p>カーボン・マネジメント強化設備導入業務</p>	<p>R2. 7. 28～ R3. 1. 31</p>	<p>計画期間：2018年度から2030年度(13年間)</p> <p>設備更新によるエネルギー効率の向上及び運用改善による省エネを推進し，エネルギー起源 CO2 排出量を削減する。</p> <p>対象施設 笠岡市立図書館 笠岡消防署 笠岡消防署北出張所 鴨方消防署寄島出張所</p>
<p>ノーマイカーデーの取組</p>	<p>毎月最終金曜日</p>	<p>自動車による環境負荷の低減に向けた取組として，「公共交通利用の日」である月最終金曜日をノーマイカーデーとし，マイカー通勤を自粛する。</p>
<p>クールビズ・ウォームビズの実践</p>	<p>クールビズ R2. 5. 1～ R2. 10. 31 ウォームビズ R2. 11. 1～ R3. 3. 31</p>	<p>地球温暖化防止の取組として「クールビズ」・「ウォームビズ」を実践する。</p> <p>クールビズ取組内容：事業所や会議室等の冷房時の室温を 28℃を目安とし、ノーネクタイ等軽装に努める。</p> <p>ウォームビズ取組内容：事業者や会議室等の暖房時の室温を 20℃以下を目安にし、暖房に頼らないライフスタイルを心がける。</p>
<p>ノーレジ袋デーの取組</p>	<p>毎月 10 日</p>	<p>地球温暖化の原因の一つである廃棄物の減量を図るため，買い物の際にはレジ袋をもらわない「マイバック持参」の呼びかけを行う。</p>
<p>緑化の推進（緑のカーテン）</p>	<p>夏季</p>	<p>夏の消費電力を抑制し地球温暖化防止を図るため，緑のカーテンを設置し，室温を下げる取組を推進する。</p>

【井原市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
地方公共団体実行 計画(事務事業編) (第5期)の改訂 により強化・拡充 を図る【実績】	平成30年3月 ～ 令和4年度	CO <sub>2</sub> 排出量や削減ポテンシャル等の現状の分析を行い、2030年度に向けた目標及びその目標の達成のために取り組むべき施設及び設備の絞り込みを行いました。 また、全庁的かつ多層的なPDCAを備えたカーボン・マネジメント体制の整備及び推進をします。 この計画を基に、該当施設及び設備の空調機器や照明器具のLED化等により、二酸化炭素排出削減をし、もって地球温暖化対策を進めていきます。
クールビズ	5月～10月	執務室の冷房温度の28℃に設定し、ノーネクタイ等のクールビズを推進
ウォームビズ	11月～3月	執務室の暖房温度を19℃以下に設定し、重ね着等のウォームビズを推進
グリーン購入の推進	通年	特定調達品目によるグリーン購入に取り組んだ。
井原市環境フェア ※令和2年度はコロナ禍により中止	毎年6月1週目の 日曜日	6月の環境月間に合わせ、各種環境団体が集い、地球にやさしい暮らし方を考え、気づき、行動してもらうことを目的として市と井原市環境フェア実行委員会の主催により実施する。会場では3R推進やマイバッグ運動啓発、環境学習体験ブース等でごみ削減を促し、地球温暖化等について考えてもらうイベントとしています。
環境ポスター展示 【実績】	令和2年10月30 日～11月9日	市内小学生を対象に「地球温暖化防止」、「ごみ減量化・リサイクル推進」、「食品ロス削減」をテーマにポスターを募集。優秀作品は井原駅ビル内に展示し、地球温暖化防止等を訴えました。 また、入賞作品6点を市内一般廃棄物収集運搬委託事業者のご協力のもと、パッカー車3台に掲示し、市内全域に活動のPRを図ります。 さらに、優秀作品が掲載してあるクリアファイルを応募者及び関係者に配布し、啓発に努めました。

<p>マイバッグキャンペーン推進啓発活動</p> <p>【実績】</p>	<p>6月と11月の2回 (強化月間に合わせて毎年実施)</p>	<p>6月と11月の「おかやまマイバッグキャンペーン」月間に「岡山県統一ノーレジ袋デー」に定められる10日の前後にエコバッグ、チラシ、ティッシュ等の啓発グッズを配付し、不要なごみの削減を訴えることで地球温暖化対策の活動をしている。</p> <p>令和2年度については、コロナ禍により店頭等での啓発活動は行わず、市業務窓口でチラシ、ティッシュ等を配付し、啓発活動とした。</p>
<p>市役所及び関連施設の独自の「ライトダウンキャンペーン」実施</p> <p>【実績】</p>	<p>平成30年3月14日から開始 (毎週水曜日実施)</p>	<p>市役所及び関連施設で毎週水曜日の20時以降にライトダウンを推奨する取り組みを行っています。</p>
<p>エコまちモデル事業整備(電気自動車急速充電器・太陽光発電型LED照明・太陽光発電システム・定置型リチウムイオン蓄電池・エネルギー監理システム・啓発用看板設置)</p> <p>【実績】</p>	<p>平成30年3月10日  平成31年1月12日</p>	<p>市民の省エネルギーや再生可能エネルギーへの関心を高め、循環型社会の形成を図るため、エコまち事業の推進として、モデル施設の整備を行いました。</p> <p>整備の内容は、29年度には美星産直プラザに電気自動車急速充電器1基と太陽光発電型LED照明4基を設置しました。また、30年度には太陽光発電システム(5.2kW)、定置型リチウムイオン蓄電池(5.6kWh)、エネルギー監理システム、また本事業による取り組みを推進するための啓発用看板を設置しました。</p>
<p>井原市住宅用太陽光発電システム等設置費補助金交付</p> <p>【実績】</p>	<p>平成21年4月1日 (平成27年4月1日改正、蓄電池を追加)</p>	<p>市民のクリーンエネルギー利用を積極的に支援することにより、地球規模での環境保全及び環境問題に関する市民意識の高揚を図り、環境にやさしいまちづくりを推進するため、住宅用太陽光発電システム及び住宅用定置型蓄電池を設置する者に対し、補助金を交付しています。</p>

【総社市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
緑のカーテン設置	平成20年度から毎年（5月～10月）	市庁舎の南側に約 60 本のゴーヤを植えて、壁面に緑のカーテンを設置することにより室温上昇を抑制し、温室効果ガス削減に取り組んでいる
クールビズ運動	5月～10月	クールビズ運動を実施し、庁舎の冷房温度を28度に設定
クリーン作戦	6月、11月	市内各地で清掃活動を実施した。
ノーレジ袋キャンペーン	6月、12月	買い物にはマイバッグを利用してもらうよう、市内でマイバッグを配付
ウォームビズ運動	11月～3月	ウォームビズ運動を実施し、庁舎の暖房温度を20度に設定市内各地で清掃活動を実施した。
PC・照明機器の節電	随時	昼休みは、窓口・共用部分以外の消灯を徹底した。
生活用品交換銀行	随時	各家庭にある不用品の情報を広報紙に掲載し、希望する市民に渡す仲介をした。
生ごみ処理容器の購入費助成	随時	生ごみ処理容器の購入費のうち1/2（上限2万円）を補助し、生ごみ処理容器の利用を推進している。
EMボカシの配布	随時	生ごみ処理容器で利用する EM ボカシを無料で配布し、家庭から発生する生ごみの発生量を抑制している。
電気自動車の導入	随時	現在、公用車として4台の電気自動車を導入している。
フードマイレージの低減	随時	給食等を地産地消することにより、食料の輸送距離を減らす。

【高梁市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等																												
EV 急速充電器の 設置・管理運営 (電気自動車の 普及)	・H23.10～  ・H28～	岡山県の事業により、高梁市観光駐車場に急速充電器を設置。県との協定により県が設置し、管理運営を市が行っている。(環境課)  高梁市役所駐車場(来庁者用)に急速充電器を設置し、管理運営を行っている。(理財課)																												
公共施設へ太陽 光発電設置		公共施設(学校を含む)に太陽光発電を整備。  <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>太陽電池容量の合計値(Kw)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高梁総合文化会館</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>有漢給食調理場</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>高梁小学校</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>落合小学校</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>川面小学校</td> <td>19.0</td> </tr> <tr> <td>川上小学校</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>高梁中学校</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>成羽中学校</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>市営木野山住宅</td> <td>7.2</td> </tr> <tr> <td>高梁市本庁舎</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>高梁市消防署西分駐所</td> <td>15.0</td> </tr> <tr> <td>成羽長寿園</td> <td>16.2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>277.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>市本庁舎敷地にハイブリッド発電設備(小風力・太陽光)を設置。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・2機整備し外灯で利用(うち1機は非常時電源として利用可能)</li> </ul> </p>	施設名	太陽電池容量の合計値(Kw)	高梁総合文化会館	50.0	有漢給食調理場	20.0	高梁小学校	30.0	落合小学校	30.0	川面小学校	19.0	川上小学校	20.0	高梁中学校	30.0	成羽中学校	30.0	市営木野山住宅	7.2	高梁市本庁舎	10.0	高梁市消防署西分駐所	15.0	成羽長寿園	16.2		277.4
施設名	太陽電池容量の合計値(Kw)																													
高梁総合文化会館	50.0																													
有漢給食調理場	20.0																													
高梁小学校	30.0																													
落合小学校	30.0																													
川面小学校	19.0																													
川上小学校	20.0																													
高梁中学校	30.0																													
成羽中学校	30.0																													
市営木野山住宅	7.2																													
高梁市本庁舎	10.0																													
高梁市消防署西分駐所	15.0																													
成羽長寿園	16.2																													
	277.4																													

【新見市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
庁舎内の節電	通 年	昼休み、始業前、時間外業務での不用な照明の消灯
クールビズ	5月～10月	業務時の服装をノーネクタイ等の軽装とし、冷房時の室温を高めに設定する
ウォームビズ	11月～3月	業務時の服装を重ね着等で暖かくし、暖房時の室温を低めに設定する
低公害車の利用	通 年	市外出張はハイブリッド車、市内では電気自動車・軽自動車の利用推奨
新見市地球温暖化対策実行計画	平成28年4月～令和3年3月	上記の対策により、施設のエネルギー使用量の低減を目指す
マイバッグ運動	通 年	市内のイベント会場等でマイバッグの配布等の啓発
クールシェア	6月～9月	公共施設のクールシェアスポットへの登録、利用啓発
住宅用太陽光発電システム設置費補助	通 年	市内の住宅へ居住する市民に対して、屋根等へ太陽光発電システムを設置する場合の工事・購入費補助
住宅用太陽熱温水器設置費補助	通 年	市内の住宅へ居住する市民に対して、屋根等へ太陽熱温水器を設置する場合の工事・購入費補助

【備前市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
備前市地球温暖化対策実行計画「事務事業編」策定	H28 年度	地球温暖化対策の推進に関する法律第 21 条に基づき、市の事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出量の削減についての計画を策定した。 ※計画見直し時期は令和 4 年度を予定。
カーボンマネジメント強化事業	H30 年度 H31 年度	市内施設 2 箇所（養護老人ホーム、総合運動公園体育館及び温水プール）の照明、空調、給湯設備等を更新し、省エネ化を図るとともに該当施設にクラウド BEMS を導入し、同ネットワークに接続する施設を増やすことで施設の CO2 排出量を一元的に管理している。
電気自動車導入費補助金	H28 年度より	予算の範囲内において電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、V2H 充電設備を購入した市民に備前市電気自動車等導入費補助金 100 千円を交付している。
廃食油回収事業	H30 年度より	家庭の使用済み食用油を回収し、飼肥料や油脂製品の原材料として業者へ販売し再利用する取り組みを実施している。
急速充電器設置事業	H28 年度より	市内 6 か所に急速充電器を設置し電気自動車の普及促進を図っている。

【瀬戸内市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
公共施設等先進的 CO2 排出削減対策モデル事業	平成 28 年度から令和 2 年度まで	<p>公共施設を対象に太陽光発電による再生可能エネルギーを活用したマイクログリッドを導入し、併せて空調設備をはじめとした省エネ改修及び空調機の遠隔監視機能を活用した地域全体のデマンド制御を行うことにより、エネルギー需給バランスの最適化管理を行う。加えて、地域内あるいは地域間で電力を融通しエネルギーを地産地消し、エネルギーロスを極限まで抑え、かつ価格インセンティブの導入によりマイクログリッド内で自律的に電力需給のバランスをとるシステムを構築することで再生可能エネルギー固定買取制度 (FIT) に依存しない再生可能エネルギーの導入促進を目指す。</p> <p>令和元年度までに施設の省エネ改修及び太陽光発電施設の新設工事を行うハード整備は、計画の全 22 施設において完了しており、今年度は電力需給の最適化管理のシステム運営を進めるソフト面の実施を行う。</p>



【赤磐市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
(実績)		
赤磐市地球温暖化防止活動実行計画	令和2年4月	赤磐市地球温暖化防止活動実行計画の開始
スマート通勤に参加	令和2年10月	「スマート通勤おかやま」に参加
不要電力の節電	通年	土、日、祝日及び平日午後5時15分以降の冷暖房停止(超過勤務申請時に届出制) 昼休み時間の消灯 パソコン電源管理の徹底
クールビズの推進	令和2年5月～10月	ノーネクタイ等のクールビズの推進
ウォームビズの推進	令和2年11月～ 令和3年3月	重ね着等による暖房に頼らないワークスタイルの推進
エコ商品購入の推進	通年	エコ商品購入の実践を推進

【真庭市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
COOLCHOICE 推進事業	R2. 7. 8 ～ R2. 1. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COOLCHOICE ラッピングバスの運行・中刷り広告の掲示</li> <li>・ COOLCHOICE 啓発ポスター、チラシの配布</li> <li>・ スマートムーブ(公共交通機関の利用)の促進や再配達防止を訴える動画の作成、YouTube への公開。</li> <li>・ クールチョイス等エシカル行動推進に資する地域通貨等インセンティブの創出検討・実証</li> </ul>
第 3 次真庭市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	H29. 4. 1 ～ R4. 3. 31	<p>短期目標: 基準年度比 (H25) 8%削減(1,699t-CO<sub>2</sub>相当)</p> <p>長期目標: 基準年度比 (H25) 30%削減(6,287t-CO<sub>2</sub>相当)</p>
マイクロ小水力発電	R1. 8～	令和元年 8 月から蒜山上長田の吉森美田野自治会で水路を活用したマイクロ小水力発電の実証実験を開始している。発電した電気は売電を行い、売電の一部を地域の盆踊り(大宮踊り)の保存に活用されている。

【美作市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
COOL CHOICE (クールチョイス)	通年	クールビズまたはウォームビズ、エコドライブを実施
スマート通勤おかやま	11 月	徒歩や自転車、公共交通を利用して通勤する取り組み

【浅口市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
クールビズ	5月～9月	ノーネクタイ、ノージャケットなどの服装に努め、室温 28 度以上に設定する活動に参加している。
ノーマイカーデー	5月最終金曜日	マイカーを使わず、公共交通機関や相乗り出勤により二酸化炭素削減を促進する活動に参加している。
クールシェアスポット okayama	7月～8月	地域で気軽に集まって涼むことができる「クールシェアスポット」として、かもがた町家公園、天文博物館を開放している。
スマート通勤 okayama	10月最終週 平日月～金曜日	民間企業も含めた、5日間対象の二酸化炭素削減促進の活動に参加している。
ウォームビズ	11月～3月	室温を 20 度以下に保つなどの、二酸化炭素削減を促進する活動に参加している。
県統一ノーレジ袋デー	毎月 10 日	マイバック持参により、ごみの減量、地球温暖化防止を促進する活動に参加している。
エコドライブ	通年	アイドリングストップ、タイヤの空気圧をこまめにチェックする等のエコドライブを広報紙等で推進している。
庁舎の節電	通年	業務に支障のない範囲での、執務室における節電（昼休みの消灯など）
空調運用指針の周知	夏季・冬季	空調の運用について、設定温度や稼働時間の指針を示している。
浅口市第 3 期地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	平成 30 年 2 月策定	地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく、地方公共団体実行計画として策定。

地球温暖化防止プロジェクト推進会議  
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名： 岡山県町村会 \_\_\_\_\_

委員名： 亀森敏宏 \_\_\_\_\_

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
クールビズ県民運動	5月から10月	・職員に対して、クールビズの周知
ウォームビズ県民運動	11月から3月	・職員に対して、ウォームビズの周知
	年 間	・休憩時間の消灯